

## ラット由来のミトゲン活性化プロテインキナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0443

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 ミトゲン活性化プロテインキナーゼ(MAPK)は、アミノ酸セリン、スレオニン、チロシンに

特異的なプロテインキナーゼです。MAPKはCMGC(CDK/MAPK/GSK3/CLK)キナーゼ群に属します。MAPKは、ミトゲン、浸透 $\square$ ストレス、熱ショック、炎症促進サイトカインなど、さまざまな刺激に $\square$ する細胞 $\square$ 答を指示する役割を担っています。彼らは、 $\square$ 殖、遺伝子発現、

分化、細胞分裂、細胞生存、アポトーシスなどの細胞機能を調節します。

別名 ERK2; 細胞外シグナル調節キナーゼ; ラット由来のMAPキナーゼ; MAPK; □殖因子活性化タン

パク質キナーゼ

## 製品情報

**種** ラット

由来 E. coli

**形態** 緩衝された水性グリセロール溶液

分子量 mol wt 42 kDa

*純度* > 95% (SDS-PAGE)

活性 > 500 U/mg

**緩衝液** 20 mM Tris、pH 7.5、150 mM NaCl、1 mM EGTA、10% グリセロール、1 mM DTT、お

よび 0.03% Brij の溶液。

**代謝□路** ARMS媒介の活性化、特定の生物系; 活性化されたTLR4シグナル伝達、特定の生物系; 急性骨□

性白血病、特定の生物系; 急性骨□性白血病、保存された生物系; 接着結合、特定の生物系; 接

着結合、保存された生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系

**機能** ATP結合; ATP結合; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ

活性; RNAポリメラーゼIIカルボキシ末端ドメインキナーゼ活性; RNAポリメラーゼIIカルボキシ末端ドメインキナーゼ活性; キナーゼ活性; キナーゼ活性; ミトゲン活性化プロテインキナーゼキナーゼキナーゼ結合; ヌクレオチド結合; ホスファターゼ結合; ホスファターゼ結合; ホスカチロシン結合; タンパク質結合; タンパク質キナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリ

ン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; 転写因子結合

**単位定義** 1単位の活性化されたMAPキナーゼは、 $30^{\circ}$ CでATPからミエリン基本タンパク質に1nmoleの

リン酸を1分あたり転送します。

## 使用法とパッケージング

**包装** 100 ngのバイアル

保管・発送情報

*安定性* -70°C